

## 平成 27 年度 佐野小学校区 第 1 回地域コミュニティ連絡会まとめ

6月12日(金)に開催された「佐野小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。(市のホームページにも掲載)

問合せ 地域安全課 きずなづくり推進室 (電話983-2708)

ご参加ありがとうございました。



### 【当日参加団体一覧】

団体名		
佐野自治会	伊豆佐野保育園	学校支援地域本部
見晴台自治会	佐野小学校	環境美化推進員
民生委員・児童委員	佐野小学校 PTA	体育振興会
地域包括支援センター	北上中学校	消防団第5分団
保護司会	佐野子ども会	地域安全推進員
交通安全母の会		

※当日参加者 22 名

### 【地域の情報交換】

～各団体より校区の皆さんへ、情報提供&ご協力のお願い～

- 伊豆佐野保育園：佐野小と合同訓練を行なっている。保育園周囲には民家がないので、避難時には地域の方にもぜひご協力をお願いしたい。災害時だけでなく、日頃から行事等を通じて地域の方との交流を広げていきたい。
- 佐野小 PTA：8/1(土)～2(日)佐野小で「第3回防災キャンプ」実施予定。地域の方に運営のお手伝いをお願いしたい。どんなことでもいいので、協力いただける方はPTA本部か佐野小(教頭)にご連絡ください。

#### <会場アンケート>

話し合いたいテーマについて、参加者の意向を伺いました。



### 【テーマ別会議】

#### 会場アンケートの結果

- ① 地域にいる人材が輝く防災訓練を企画してみよう！・・・・・・・・・・9人
- ② 消防団を地域で支えていくための具体的な取組を考えよう！・・・・・・・・5人
- ③ 佐野と見晴台の交流がより深まる取り組みを考えよう！・・・・・・・・5人
- ④ その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1人

※アンケートの結果、テーマ①&②と③の2グループに分かれ話し合いました。

(次頁以降「テーマ別会議まとめ」参照)

参加者の発言内容を「現状・お困りごと」と、課題解決に向けた「解決策・アイデア」に分類しました。

テーマ

①&②

①「地域にいる人材が輝く防災訓練を企画してみよう！」

②「消防団を地域で支えていくための具体的な取り組みを考えよう！」

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
消防団を地域で支えていくには？	団員の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>●見晴台→団員数が少数</li> <li>・若い人は仕事があるから団員になるのは難しいのでは？</li> <li>・現状は会社員が半数→会社員でも団員は可能。</li> <li>・放送&amp;メールで通知される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●佐野→団独自で団員募集</li> <li>・地元の長男は全員経験者。</li> <li>●消防団と自治会で話し合っていくことが大事</li> <li>・「臨時の消防団」にするなど、入団しやすくする。</li> <li>・40歳までの協力体制を整える。</li> <li>・見晴台では自治会役員を団員とする。(2年交代位…)</li> </ul>
	感謝を示す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず感謝していることを伝えたらいいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●感謝状や謝礼</li> <li>・市から感謝状を出してもらう。</li> <li>・地区独自の感謝状を出す。</li> <li>・謝礼を出す。</li> <li>・消防団員の表彰を多くする。(特典を増やす)</li> </ul>
	募集を工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団員になる人を探すのが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●声のかからない人をなくす</li> <li>・対象者の年齢をはっきりさせる。</li> <li>・団員募集に小・中学校卒業年度で全員にアタックする。</li> <li>・同級生が勧誘する。</li> <li>・入団時は同級生全員を同時に募集。</li> </ul>
	活動を多くの方に理解してもらう		<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団の活動をもっと多くの方に知らせる。(どういう人がどういう活動をしているか、訓練の方法など)</li> <li>・消防団員(会社勤務)の会社へのさらなる理解を求めていく。</li> <li>●回覧板</li> <li>・回覧板で活動を広報する。</li> <li>●お披露目する場</li> <li>・夏祭りなどで消防団があいさつ。</li> <li>・消防車などで活動をアピール。</li> </ul>

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
	防災キャンプ(佐野小)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災キャンプで小学生と消防団員の皆様との交流→小学生感動。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちにアピール→消防団員への憧れ。</li> <li>・小学生から消防団の皆様へ感謝の手紙を渡す。</li> </ul>
地域の防災訓練の工夫	防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年見晴台で行われた防災訓練は、これまでより様々な経験ができて良かったので、それを多くの方に広めたい。中学生も多く参加してもらおう。</li> <li>・ブースなどもあり充実した訓練だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●訓練で中学生が活躍できる工夫</li> <li>・中学生も参加できる防災訓練の企画と実施。</li> <li>・防災訓練に中高生の参加と技術の教え。(担架、消化、ロープワーク、救急法など)</li> <li>●訓練の工夫</li> <li>・災害発生前と災害発生後の訓練を分けて行う。</li> </ul>
	学校の協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生がボランティア証明書をもらいにくる。部活があっても参加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中高生の参加を促す</li> <li>・中学生・高校生は学校の協力で参加率アップ。</li> <li>●佐野小を核とした防災訓練</li> <li>・災害発生時の避難協力の為に、佐野小を核とした合同訓練を実施する。</li> </ul>

## 今回の話し合いから生まれた課題解決に向けた取り組み案

- ◇まず、消防団員への感謝の気持ち(感謝状や謝礼等)を示そう!
- ◇自治会と消防団で連携し、団員の選出や入りやすい環境について考えよう!
- ◇消防団の活動をお祭りや防災キャンプなどで積極的にアピールしよう!(子どもたちの憧れの存在に…)
- ◇中高生が活躍できる訓練、多くの人に参加できる訓練を考えよう!
- ◇佐野小を核とした防災合同訓練など、地域と学校の協力体制を話し合おう!



今回の話し合いで出された意見を参考にして、  
各団体や各町内会で課題解決に向けて取り組んでみよう!  
次回の地域コミュニティ連絡会で、進行状況の確認ができるといいね!

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
佐野と見晴台の交流を深めたい	子ども会の体制ややり方が異なる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子ども会が別                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもは小中一緒だが親は別々。</li> <li>・中学卒業後は交流なし。</li> <li>・佐野子ども会は旅行に行く（2年に一度）</li> </ul> </li> <li>●見晴台の夏祭り                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎が課題。（駐車場を探さなくてはいけない）</li> <li>・見晴台の子どもにだけ無料券があるのは不公平という問題。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子ども会同士の交流の機会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐野と見晴台の子ども会同士で話し合いが進めば、自治会で声をかけることはできる。</li> <li>→夏祭りの会議で意見を出す。</li> <li>・駐車できる場所があれば、交流が広がるかも。</li> </ul> </li> </ul>
	佐野と見晴台の交流が少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交流が少ない                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・見晴台の子ども会の活動を全く知らない。</li> <li>・交流が薄いと感じているから。</li> <li>・交流があまりない。</li> <li>・佐野の良い所（食べ物・見る所）を知りたい。</li> <li>・佐野⇄見晴台パイプが細い。個人的な交流のみ。自治会同士の交流。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●もっと協力できる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・見晴台が、佐野との防災の協力で、できることを決めたい。</li> <li>・登下校時の小学生の安全確保を図りたい。</li> </ul> </li> </ul>
	地区行事の参加少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地区行事への参加者少ない                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育振興会行事に佐野地区からの参加数を増やしたい。</li> <li>・運動会をもっと盛り上げたい。</li> </ul> </li> </ul>	
	役員の負担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員はボランティア。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●役員交代                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・退任された方も参加してほしい。</li> <li>・役員は複数年するべき。</li> </ul> </li> </ul>
交流の場づくり	交流の場	<ul style="list-style-type: none"> <li>●佐野は3世代がバラバラ（世代により生活環境が異なる）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育会と子ども会は別々。</li> <li>・祭りは上の世代が中心で子ども世代はお手伝い。なかなか発展しない。</li> <li>・佐野と見晴台では、年代構成が違う。（佐野は高齢）</li> <li>・小学校区が広いので地域内交流も大変。</li> <li>・若い男性は消防団に取られて大変。負担が大きい。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気楽に話せる集まり、場が欲しい。</li> <li>●楽しい行事で交流を広げる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・いも掘り。</li> <li>・田植え体験</li> <li>・春の遠足。</li> </ul> </li> <li>●集まる場づくり                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・校区祭を楽しみにしている子どもが多い。</li> <li>・親同士の交流は体育振興会を活用するのが良いのでは？</li> </ul> </li> </ul>

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
情報	情報不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回覧版だと伝わらない。</li> <li>・掲示板は見ない。</li> <li>・子ども会に情報を回してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●回覧板以外の情報伝達方法は？</li> <li>・小学校を利用しては？</li> <li>・ネットなどの情報。</li> </ul>
交流を継続させるには？	既存の会や交流の場	<ul style="list-style-type: none"> <li>●会での交流（女性の集まりの会がない）</li> <li>・親同士・子同士の交流。</li> <li>・子ども会の父母世代が中心。</li> <li>・見晴台しゃぎり。スクールガード。</li> <li>・ボランティア会。</li> <li>・おやじの会。</li> <li>・消防団。</li> </ul>	
	交流に目的を持つ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交流を続けるには目的が必要</li> <li>・何に向かって交流していくのかがわかっていないと、集まっても話が進まない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●将来を見据えた交流</li> <li>●「子どもが帰りたいまち」、「子どもが将来返ってくるまち」にする。そのために交流を広げている。</li> </ul>
	有事の際の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の交流がないと、有事に協力できない。</li> <li>・災害時の子ども預かり。</li> <li>・防災地形が違う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●有事の助け合い</li> <li>・災害時に助けてもらう。佐野と見晴台の協力が大切。</li> <li>・見晴台では水は1日しかもたない。</li> <li>・消防や体育から活動を広げていく。</li> <li>・学校支援地域本部で有事の助け合いについて検討する。</li> <li>●まず、自治会（会長）同士が方向性を話し合う必要がある。</li> </ul>

## 今回の話し合いから生まれた課題解決に向けた取り組み案

- ◇佐野と見晴台の交流を広げる為、子ども会同士の交流を広げよう！そのために地域でも駐車場対策などの協力をしていこう！
- ◇効果的な情報の周知方法（小学校やネット利用）を考えよう！
- ◇「子どもたちが帰ってくる町」など、皆が交流の目的を持つようにしよう！
- ◇有事の際に協力できる具体的な内容を話し合い、活動を広げていこう！

今回の話し合いで出された意見を参考にして、  
各団体や各町内会で課題解決に向けて取り組んでみよう！  
次回の地域コミュニティ連絡会で、進行状況の確認ができるといいね！



